



大町高校同窓会報  
第15号

発行 大町高校同窓会  
会報編集委員会  
TEL.0261-23-3062  
E-mail:omachihs@yahoo.co.jp  
印刷 (株) 奥村印刷所

## 定期総会の開催

平成二十六年年度の同窓会総会は、六月十四日土曜日に大町市のJ A 大北農業会館「アブロード」において開催されました。

この総会で奥村剛会長は、仮称「大町岳陽高校」の特別教室棟校舎建設が進められており、この九月には完成する。明治三十四年に開校し質実剛健の伝統を誇る当校も、二十八年度には新校として発足する。本同窓会も新校への移行に向けて、準備会を設け検討を



を進める。我々は更なる連帯と絆を強め、魅力ある学校づくりを目指していかなければならないと強調しました。

また、来賓の横川秀明校長からは、在校生への支援に感謝したい。皆様の伝統である質実剛健の精神を引き継ぎ、生徒は学業に部活動に頑張っている。学校では、新校に向けた準備を進めているが、新校になっても伝統ある全校登山は継続したい。と述べられました。

今年の「長老ハッジ」卒業後五十年目(は、高校十七回卒業生の皆さんに贈られ、代表して高野嘉敬さんが謝辞を述べました。

議事では、議長に荒沢靖さん(高十六回卒)が選出され、事業報告や会計決算、本年度事業計画と予算が承認されました。また、閉校に向けて実施する事業として、同窓会名簿と記念誌の発行、記録映像や校歌碑の制作などに取り組むことが決定されました。特に、同窓会の今後の方針として、二十七年をもって本会を解散し、二十八年度から大町北高校同窓会と統合して、新校在校生をサポートするとともに、両校現同窓生の活動を支援する方針が承認されました。同窓生の皆さんには、名簿作成への協力と合わせ記念誌や記録映像等の購入にご理解をお願いしたいと思っております。



変わる大学入試制度をチャンスに  
大町岳陽高校をより良い学校へ！  
同窓会会長 奥村 剛(高8回)

新春から始まったNHK大河ドラマ「花燃ゆ」は吉田松陰の妹、文の目から見た松下村塾の人間教育の物語りである。吉田松陰が有名なのはなんといっても松下村塾における教育である。

吉田松陰の教育方針は変わっていた。彼はまず門人に対して、わたしはきみたちの学友であって師ではない。共に学ぶ立場だと言言した。次のように学習方法も独自のものがあつた。

自分で研究テーマを選ぶ。

まず自分でその問題について考えをまとめる。そして、親しい学友にそれを話す(対話)。その後全門人の前で意見を発表する。そして質疑応答(討論)。はじめからわたしは意見をいわない。どうしても困ったときだけききたまえ。

こういふように、自分で自分の考えをまとめるというのを重んじた。教材には自分が九州から東北まで旅して見聞した事件を克明に書いたメモを机の上に置いた「飛耳長目録」と名づけてあつた。

なぜ、この事件は起こつたのか、防ぐことができなかつたのか、起つた後の処置は正しかつたのかなどについて考えたまえと指導した。

松陰は、高杉晋作の見識の高さと久坂玄瑞の学力の深さを、伊藤博文と吉田稔磨とで身分制について意見を闘わせ、山縣有朋と広沢真臣とで今の時代に合つものは何かを討議させ、自分が先に立つてあつた。こういふことではなく、門人たちの長所短所を知り尽くした上で、この人間にはこの人間が合つこの判断で長所を伸ばさせ、短所を補わせたりする教育方法をとり、やる気を引き出させた。

松下村塾で松陰が教えたのは、わずか一年ちょっとだ。彼は安政の大獄で首を斬られた。享年三十歳だった。しかし彼が残した松陰スピリットは、その後も弟子たちに受け継がれ、明治維新で活躍し、同

時に近代化を進めた造船の天野、鉄道の飯田も、明治新政府を担つたのも松下村塾の門人たちであつた。松陰の教育方法は、自分の主体性を大切にし、その創造力と能力をまず自分が自分で自分を振り起こす努力をすることだ。いたずらに他に頼ることなく、「自分にはそれだけの可能性がある」といふ信念と自信を持たせることであつた。

今、中央教育審議会では知識偏重や一点刻みの大学入試を改めて、思考力や判断力をみる内容に変え、高校・大学教育も抜本的に改革すべきとの提言を、村文科相に答申した。答申はまず、社会の変化は加速しており、同じ教育を続けていては新時代に通用する子供の力を育むことはできないと指摘。現在の大学入試は知識の暗記に偏りがちで、思考力や判断力、主体性など「真の学力」が十分に育成、評価されないと批判し、改革は不可欠で、一刻の猶予もないと強調した。各大学の個別入試についても小論文や面接、集団討論など多様な角度と尺度から選考することが必要であるとした。

この中教審の答申内容と幕末の吉田松陰の松下村塾に於ける教育方針には幾多の共通するところがあります。特に、対話すること、討論すること、そして生徒のやる気を起こさせ、自分の主体性をもってその思考力と判断力を磨くことは時を超越して人間を育む「真の学力」ではないでしょうか。いつの時代にあつても、殊更、資源の少ない日本にあつて、人間の教育の重要性を痛感するところでありませう。

大学入試制度が大きく変わらうとする時、今よりその対策を練るために母校・先生・生徒・PTA・同窓会・地域・行政が一体となつて、教育内容の充実と研鑽に励み、仮称大町岳陽高校の輝やかしき未来を切り拓き、より良い高校にするまたとなつたチャンスを生かすしなければならぬと思つてます。

# 母校は今



## 地域貢献と人づくり

学校長 横川 秀明

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、物心両面にわたり本校に温かいご支援を賜りもまことにありがとうございます。さて、昨年十一月二十二日県北部を襲った神城断層地震では、尊い財産が失われ、多くの被災された方々が不自由な避難所生活等を送られています。被災された生徒保護者並びに同窓生の皆様に心からお見舞い申し上げます。また、この機会に改めて、学校や地域の防災について学び、防災教育を推進してまいりたいと思います。

昨年十月に管理特別教室棟が完成し、平成二十八年度の大町新校の開校に向け、改築が進んでおります。まだ教室棟や体育館等すべての完成まで四年の月日がかかりますが、百有余年の伝統と実績を引き継ぎ、新たにスタートをしていきます。新校のあへき姿につきましても様々な機会を設けて説明をしてきましたが、まだまだ周知していない点もあり今後中学生はもとより、地域の皆様に丁寧に広報していきます。中学を卒業した生徒のほとんどが入学する高校に、今一番求められていることは、多様な生徒に応じた様々なカリキュラムを用意することで、社会的な要請に応えることだと考えます。各高校の役割や使命に違いがあることは当然ですが、高校を単

に偏差値で選択するのではなく、自分はいきたいからこの高校に行きたいという思いが大切だと思います。それに応えるべく高校側が三年間の教育活動をどのように構築し、工夫し、実践し、高等教育の質の向上を図っていかねばなりません。本校も中学校と連携を取りながら、一人ひとりを伸ばしていく体系的な授業に取り組みでいきます。また、その延長線上で大学等との連携を図り、キャリア教育を含めた高大接続を進めていきたいと思えます。急激な少子化が進み、高齢者割合が増加、生産者年齢人口が減り続けています。大北地区はその進行が特に早い所でもあります。地方創成を推進するうえで、教育の果たす役割は大きいです。本校の多くの卒業生が都市部の大学等へ進学する中で卒業後地域に戻り、地域を支える人材になることを家庭や地域と連携を取りながら進めてまいりたいと思えます。

私も教職員は、この地域に愛着と関心を持ち、地域貢献できる人づくりのために地域の特性を生かした教育に全力を傾けて取り組む決意であります。同窓生各位の母校に寄せる熱い思いに感謝申し上げます。今後とも変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 講演「八面大王の正体を明かす」

小林 耕氏(高17回)

長老ハツチ組から選ばれる恒例の講演会は、埼玉県川口市在住の株式会社ケルン代表取締役、歴史の謎・易学研究家でもある小林耕さんが講演しました。

小林さんは、柔道部に所属していた五十年前、インターハイ県予選で初めて団体優勝し、全国大会軽量級で3勝したことが強く印象に残っていると話されました。



二十年来安曇史に興味を持ち、青木治先生のアドバイスを受けたことにより、八面大王にたどり着いた。安曇野の有明山の麓に残る八面大王伝説は、実は歴史的事実であったということ、私はいろいろな古代史や歴史を

調べてみて確信した。

八面大王の正体の手掛かりは、上田市塩田町手塚にある王子手塚伝説である。それは天武天皇の孫で氷上塩焼王が謀反の罪により、坂上田村麿に殺され、四つ切にされた死体の両手が埋められていたこと由来している。しかし、塩焼王は歴史上七六四年、田村麿八歳の時に刑死している。この伝説は根拠がない。ところが、八面大王が殺され、その首が埋められた松本市塚麿に、七九四年に筑摩神社が創建されており、田村麿は七九三年から四年には、松本付近の東山道を往復している。このことから、八面大王の正体は、その時代の背景から考えて、塩焼王の長子である氷上志計志麿と比定したのである。と熱く語られました。また、研究を通して、塩田平と安曇平はつながりが深いこと。安曇族のルーツや泉小太郎と犀龍などの話しを通して、安曇は古代史の宝庫であることを強調され、講演を終わりました。

## 校歌碑を建立

板は現在、校長室で保管していただいています。



「西に東にそびえ立つ・・・」と始まる大町高校校歌。作詞は吉丸一昌、作曲は島崎赤太郎という当時の東京音楽学校、今の東京芸術大学音楽科の教授であった両先生に、明治四十四年に作っていただいたものです。歌い継がれて百有余年。大切な校歌を新校の校地に歌碑として残すことになりました。校歌の銘板は平成26年12月に完成。歌詞の揮毫は、全国書道展1位の同窓生の峰村晴香さんに手掛けていただきました。碑板をはめ込む大きな石は、校舎の一連の整備の中で配置を決めることになったため、銘

写真は、贈呈式の様子。奥村同窓会長と作詞者の孫で東京から駆けつけていただいた関東同窓会の吉丸昌昭会長から横川校長先生に銘板が手渡されました。学校名は変わっても、伸び行く国の平和は、わが双肩にかかりたり、いざや励まなもるとともに」と結び、大町スピリットが、変わらず受け継がれる様子を見守ります。

### 平成二十六年進路指導を ふりかえって

進路指導係

まず希望者が多い国公立四大入試の状況だが、第一関門のセンター試験の難化傾向が平成二十五、六年度と二年続き、定着したように見える。5教科7科目平均文系で570点前後で推移していたものがこの二年間は530点程度と下がっている。(河合塾調べ)

第一関門の二次試験で特徴的なのは、信州大学の難化傾向定着である。本校生徒の希望の多い信大に合格するのはきわめて難しい状況になった。現役生の信大合格は推薦一般合わせて6名にとどまった。レベルを押し上げているのは、主として首都圏の受験生の増加によるものである。大ざっぱに言えば大学は東京に近いほど難しい。我々の感覚からすると信大は、我が地方の国立大であるはずだが、高速交通網が発達した現在では準首都圏大学の位置づけになっている。東京から長野まで一時間半。通学可能圏内なのである。

現役生の国公立大延べ合格者数は25名で前年と同じであった。数で見ると少し寂しい気がするが、本校が入れる大学より入りたい大学をめざして指導している裏返しでもある。一浪生ではあるが、難関の東北大に2名の合格を果たしたのは特筆したい。現役生も合格は勝ち取れなかったが旧帝大クラスに果敢に挑戦したことは次につながると思つ。

私大では農学部人気で今や難関大となっている東京農大に現役2名、一浪2名の4名の合格を果たしたのが注目される。

今後も国公立、私立を問わずまずは高い志を持って目指すことを重視して指導していきたい。ここが全ての出発点だからだ。

就職では公務員に6名、電力会社に2名合格し社会人となる。就職指導で常々感じるのは本校に寄せる地元の信頼の大きさである。それは同窓生の活躍によって培われてきたものであることは申し上げるまでもない。

### 平成25年度卒業生進路状況 H26.4.6現在

平成26年3月卒		大学			短大			専修学校 大学校等	浪人	就職	自営家居	海外教育機関	卒業者数	
		国公立	私大	計	国公立	私大	計							
実数	全体	人	20	56	76	6	6	12	17	37	8	2	2	154
		%	13.0	36.4	49.4	3.9	3.9	7.8	11.0	24.0	5.2	1.3	1.3	100.0
	男	人	9	32	41	0	1	1	5	26	6	2	1	82
	女	人	11	24	35	6	5	11	12	11	2	0	1	72
延べ合格者数(人)			25	129	154	9	8	17	28	-	-	-	-	-



### 関東支部

## 神城断層地震に義援金を送ろう!!

関東同窓会関東支部 吉丸 昌昭

11月22日、午後10時08分。東京でも大きな揺れを感じた長野県北部地震。時間が経つにつれて小谷村、白馬村、大町市の被害状況がテレビニュースから流れて来た。私はすぐに小谷村在住の猪股カメラマンに電話をすると、すごいすーよ、道に亀裂が走っています。これからすぐに取材に出かけます」と。彼は大町高校同窓会ビデオの撮影を依頼しているカメラマンだ。

翌々日、24日にカメラを持って特急あ

ずさくに飛び乗った。友人の同窓生、篠崎久美子さん(白馬村村議)が被災したという一報が私を白馬に向かせた。  
現地では、安倍総理の視察に来た時間と重なり、テレビ取材のヘリがうるさく飛び交い、ニュースカメラマンが、新聞記者が走り回っていた。  
100年以上の古民家が傾き、2階のみを残す家屋、道路はいたるところで亀裂が走っていた。生々しい被災した現地の姿に驚き、この歴史的な自然災害のありのままを同窓会ビデオにも記録しておく必要性を感じた。

1ヶ月後の12月19日、猪股カメラマンと再び白馬村を訪れた。被災者に追い打ちをかけるような大雪に見舞われた被災地は豪雪に埋もれていた。  
インタビューした同窓生 柏原さんは「もつ、白馬を離れたい。家は半壊だったけど大雪で潰れて全壊だわ。この言葉が東京に戻っても頭から離れなかった。」

関東同窓会役員会で同窓会として何か出来る事がないかを協議した。そして、義援金を募るということになった。

同窓生や一般の方からいただいた募金額はおおよそ、10万円に達した。一人の力より、多くの力を！ 第二次の募金も計画している。

### 関東同窓会からのお知らせ

今年には関東同窓会総会が予定されています。日時は9月12日か19日で調整中。場所は前回と同じ神田の学士会館です。

大町高等学校同窓会

### 閉校に向けて

#### 記念誌、名簿を発行 校歌碑の建立や 記録映像のDVD制作

平成28年4月の大町岳陽高校の閉校に伴い、大町高校としては閉校までいよいよ1年となりました。同窓会では、閉校に向けていくつかの事業を計画。25年度の総会で基本方針を確認した中で、記録映像の撮影に着手するなど、一部事業に取り掛かりました。

25年度からは、百周年以降の学校の出来事をまとめた閉校記念誌の発刊や、記録映像のDVD化、また、最後となる卒業生名簿の作成にも着手しています。

それぞれ、予約注文をとりましますので、別添のはがきでお申込みください。

公式の閉校行事は、学校が主体となって開催いたしますが、閉校に併せて、PTAなどと協力しながら講演会や音楽会の開催も計画してまいります。

#### 閉校記念誌「大町高校軌跡」

記念誌は、大町中学としての閉校から大町高校閉校までの歴史を年表や写真、主な出来事をダイジェストで綴るほか、閉校に至る歴史的背景や協議内容を掲載。また、大町高校に縁の皆さんからの寄稿や100周年以降の行事を掲載し、大町高校の歴史

を一目で迎れる集大成となります。

装丁はソフトカバー、A4判、200頁程度を予定。千円送料込で販売いたします。

なお、記念誌に人物写真が掲載される場合がありますが、下記取扱規定により同窓生のご理解をいただきますようお願いいたします。

#### 同窓会名簿

同窓生名簿は、最後の発刊となります。前回発行した名簿に28年3月卒業27年4月入学(者)までを含めた大町高校118年間の卒業者一覧です。

下記の、大町高校同窓会 個人情報取扱規定を順守し、発行することいたしました。別添のはがきでお申込みください。

販売は、予約注文のみで送料込4千円です。

#### 記録映像DVD

大町高校に保存され、また、記録されていた様々な映像をDVD化し、販売いたします。全校登山やクラスマッチ、学園祭や強歩大会など大町高校ならではのイベントの数々、懐かしい青春の1コマを映像で楽しむことができます。

戦前編、昭和編、平成編の3枚で、各千円3枚組は2,500円(送料込)です。

戦前編、昭和編は、100周年の折にVHSビデオテープで販売したものです。別添のはがきでお申込みください。

### 卒業記念品の紹介

新校舎南棟3階にゼミ室という大教室があります。間仕切りを畳むと、普通教室3つ分のスペースになります。(新校舎紹介記事参照)このゼミ室用に平成25年度生と26年度生から椅子と収納ラックが卒業記念品として母校に贈られました。同時に体育館にあった平成20年度生からの椅子とラックもゼミ室用に移動しました。



## 大町高等学校同窓会 個人情報取扱規程

#### (目的)

第1条 この規程は、大町高等学校同窓会(以下、同窓会)という)が、保有する卒業生の個人情報を利用するにあたり、法令を遵守し、個人情報の保護を図るため、必要な事項を定めることとする。

#### (個人情報)

第2条 同窓会が利用する会員の個人情報(以下、個人情報)という)とは大町高等学校(以下、母校)という)から提供を受けた会員卒業時の個人情報及び卒業後、会員本人またはその家族から母校及び同窓会へ届出された情報をいう。

#### (管理体制)

第3条 同窓会会長は、個人情報管理責任者として会員の個人情報に関する管理責任を負うものとし、同窓会活動に従事するすべての者が、適正かつ適切に個人情報を取り扱うよう管理するものとする。

2 個人情報管理者は同窓会事務局及び同窓会会長が認められた者とする。

#### (収集及び利用の原則)

第4条 個人情報の収集及び利用は、同窓会の活動・運営のため必要な範囲で行うものとし、同窓会は個人情報の収集及び利用に際し、利用目的をあらかじめ明示し、会員の同意を得た上で個人情報を収集し、利用するものとする。

2 同窓会は、会員の同意を得た利用目的と異なる利用をする場合、改めて会員の同意を得なければならない。

#### (収集の制限)

第5条 個人情報の収集は、会員の氏名(旧姓含む)、郵便番号、住所、電話番号、卒業年次、職業または勤務先、学歴等同窓会活動に必要とされる情報とし、適正かつ公正な手段により、情報主体から直接に行わなければならない。

2 同窓会名簿刊行の際は、掲載の可否について本人の意思を確認する。

#### (適正管理)

第6条 個人情報管理者は、個人情報の不正利用、滅失、改ざん、漏洩等を防止するために必要な措置を講じなければならない。

2 個人情報管理者は、会員またはその家族から訂正等の届出があった場合は、その事実を確認し、速やかに個人情報を更新し、最新の状態に保つよう努めなければならない。

3 個人情報管理者は、同窓会名簿の所持者が特定できるよう、通し番号により管理する。

#### (支部・同級会活動等における利用)

第7条 支部・学年会、同級会から個人情報の提供依頼を受けた場合は、別途定める手続きに従い、当該支部・同期会の会員の個人情報に限り提供するものとする。

2 提供に際して必要な用紙代等の経費については、実費を当該支部・学年会、同級会に請求するものとする。

#### 附則

この規定は、平成26年6月14日から施行する。

## 旧校舎北棟の解体はじまる

校門前の道路からは真新しい新校舎が見えます。昇降口の上には校章も設置されました。その裏側では旧校舎北棟の解体工事が年明けから始まっています。思い出の多い旧校舎をスナップに納めました。



## 新校舎の紹介

平成26年10月、新校舎南棟が完成しました。1階は管理部門、保健室。2階に放送室、会議室、理科教室、生徒会室。三階に情報室、図書館、理科教室等があります。在校生が備品、蔵書の引越しを行い、使用を始めています。



# 同窓生の声

## 故郷と友

清水 久美子(高28回)

大町高校を卒業してから40年の歳月が流れました。親が公務員だった私は、中学校の6年間しか大町に住むことができませんでした。私の故郷はまぎれもなく大町です。

年齢を重ねるにつれて大町に恋い焦がれる思いが強くなっていく自分を感じます。

高校時代は軟式テニスに明け暮れた3年間でした。私たちのペアは2年生の秋の新人戦で長野県のベスト4に入り、長野県の強化選手として他校の選手と強化合宿に参加したことは、今でも良い思い出です。インターハイは逃してしまいましたが、共に鍛えあった男子は、インターハイ・国体・北信越選抜出場と華々しい活躍でした。

一昨年は、大町・静岡・埼玉・神奈川・福岡からその時の仲間が東京に集まり旧交を温めました。卒業以来初めて会う友もいましたが、テニスの話を始めればみんな一気に高校時代にワープです。いつまでも大切にしたい大事な仲間です。

軟式テニスは、毎年8月15日にOB会が開かれています。大町に実家のない私には大町に帰ることができる貴重な機会です。信濃大町の駅に降りると、北アルプスの山並みが両手を広げておかえり。と私を迎えてくれます。同じ時期に同級会も開かれるので、大町の2泊3日は宴会続き。旧姓の森脇に戻ることもできる幸せな時間です。「またいつでも来いよ。気をつけて東京に帰れよ。」そんな温かな言葉を投げかけてくれる優しい友の面々。安曇野の澄んだ空気とすがすがしい緑、そして柔らかな

な大きな大地がそんな優しい人柄を育んでくれているのでしょう。帰りのあずさの中では、感謝と寂しさが入り交じり必ず泣けてしまいます。

この大町でたくさんの方と出逢えてよかった。あの時代があったから今の私がある。空を眺める度に大町に思いを馳せ、また帰る日を夢見て、今日も元気に暮らしています。

## 夢の途中

峰村 智咲(平成23年卒)

大町市の保育士として昨年四月から三歳の担任として働き始め、あつという間に一年が経とうとしています。

毎朝、母校である大町高校の前を通って出勤していますが、新生高校に対する期待と母校が統合になる寂しさが入り混じった複雑な気持ちで、工事が進み様変わりしていく校舎を見えています。

小さい頃からの夢であった保育士として働く日々は、夢が実現した喜びと共に毎日が勉強です。子ども達の成長を支えるにはどんな保育をしたらよいのだろう、子ども達が最も喜びを感じる遊びや、保育はどういうものだろうなど、保育士の先輩方に教えていただきながら、子ども達と向き合っています。学生時代に机上で学んだことと現場での子ども達の姿はやはり違うことが多く焦りを感じることもあります。しかし、毎朝元気に先生おはよう」と登園してくる子ども達を迎えると、今日も一日頑張ろう。と、新鮮な気持ちで一日のスタートをきる事ができます。子ども達の命を預かっているという責任感を常に持ち、子ども達の

笑顔を励みに仕事を頑張っています。

また、年少から始めた書写書道を社会人となっても続けています。そのためか受け持ちの園児と自分の年少時代を重ねて見ることもあります。あの頃から十八年。自分の特技となるよう頑張ってきましたが、社会人になってからは習う時間の確保が難しくなりました。そして、やっとの思いで出品した全国硬筆コンクールでしたが、大会

## 部活動支援について

母校の野球部を支援するため野球部後援会という組織があります。毎年各地区の幹事さんを中心に寄付行為を行っています。また、現役選手の保護者会とも連携しています。本年度は寄付金の中から、ピッチングマシンを送りました。さらに、野球部OB会からも支援をしています。苦業を共にした同年度生が集まり物品を贈っている場合もあります。

スキー部についてもシーズン入りに合わせて、OB会から支援していると聞きます。この他にも各部活動の同窓生が後輩たちへ何かしらの支援活動を行っていると思えます。

こうした支援活動が大町岳陽高校開校後も継続されることを切に望むものです。

同窓生の皆様のご理解とご協力をお願いすると共に、母校の部活動の一層の奮起に期待したいものです。



最高賞の文部科学大臣賞を頂くことができました。自分の夢に向かって頑張る姿勢が保育士として園児に伝わってくれたらいいなとも思っています。

支えてくださる周りの人たちのおかげでこの一年間を過ごすことができました。まだまだ未熟な私ですが、これからも夢であった保育士の仕事と書写書道に精進していきたいと思えます。

# 平成二十六年 度 クラブ活動の活躍

## 【女子バスケットボール】

中信総体 1回戦

## 【男子バスケットボール】

中信総体 2回戦

## 【女子バレーボール】

中信総体 3位  
県大会 ベスト8

## 【男子バレーボール】

中信総体 20 梓川  
1 2 塩尻志学館

## 【サッカー】

中信総体 1回戦

## 【ソフトテニス】

国体予選 男子ペア ベスト16  
女子ペア ベスト16  
中信新人 女子団体8位 県大会出場

## 【硬式テニス】

中信総体 新井理沙 7位  
女子団体 3位  
男子団体 5位

## 【水泳】

県大会 50c 工藤 夏実 七位  
100b " 九位  
北信越大会出場

## 【卓球】

中信総体 女子団体 三位  
県大会 ベスト8  
男子団体 六位  
県大会出場

## 【バドミントン】

中信総体 女子ダブルス 4位  
高橋鮎美 ベスト8

## 【陸上部】

北信越総合体育大会

松井一陽 200m 出場

男子4x100mR 出場

男子4x400mR 出場

降旗菜津美 100m 出場

200m 出場

北信越新人大会

薛玄太郎 1500m 七位

5000m 五位

1000m 七位

## 【野球部】

春季中信予選会 選手権大会 1回戦 9 美須々 北部

2回戦 4 4 北部

3回戦 9 9 北農

6回戦 8 8 更農

秋季中信予選会 6回戦 2 2 更農

## 【スキー】

長野県高等学校登山県大会 2位

長野県総体 猪股駿 GS16位 SL18位

泉竜馬 GS34位 SL35位

## 【吹奏楽】

吹奏楽コンクール 県大会 銀賞

各コンテスト・演奏会・フェスティバルに参加。

## 【フォークソング】

軽音楽専門部中南信大会 審査員賞

県大会 審査員賞

## 【美術】

各展示会参加・パフォーマンス披露

【書道】 【写真】

## 野球部

三年一組 上野 空

私達大町高校野球部は、昨年夏に行われた第96回全野球選手権長野大会に出場し、三回戦まで勝ち進むことが出来ました。秋の大会・春の大会では初戦負けを悔しい思いをしてきたこともあり、夏の大会で二勝出来たことはとても嬉しいことでした。また、試合の度に多くのOB、地域の方に球場に足を運んで応援をして頂きありがとうございました。

野球部での活動を振り返ると、学校のグランドは校舎建て替えのために使えず、授

## クライミング全国大会

二年四組 岡本 昂大

十二月二十三日・二十四日に埼玉県加須市で開催された第五回全国高等学校選抜クライミング大会へ参加しました。約一ヶ月前から顧問の大西先生に長野市のクライミングジムに練習のために遠征させていただいたおかげで心身共に良好な状態に整えることが出来ました。前回は京屋先輩との参加でしたが、今回は後輩の矢口君、同級生の泉君との参加で道中は賑やかでしたが、いざ会場に到着し、「長野県」と記された

ブラカードを手にとると、やはり緊張が込み上げてきました。開会式が終わるとしばらくして入念にアップを始めました。体を徐々にほぐし、他人のムーブを観察し、いざ一登目。出だしからフリクションを利用するスローパーの連続。予想のムーブとズレが生じ、心の中の焦りがパフォーマンスに影響し、第一核心でフォールしてしまいました。落ち着けばまだ高度を上げられる場所だっただけに落ちこみ、疲れがおしよせてきました。大西先生よりいただいた

業が終わると急いで大町市営球場まで移動をし練習をしていました。移動時間のため練習時間は短くなりましたが、少ない練習時間の中でいかに効率良く練習するかを考えたことや、本番に近い施設で練習が出来たことは、とてもプラスなことだったと思います。

また、夏の大会前には野球部後援会様から三輪式ピッチングマシンを寄贈して頂きより充実した練習をすることが出来ました。来年度は、大町高校の校名で戦う最後の年となります。後輩達には記憶に残るような熱い試合をしてくれることを期待したいと思えます。

レッド・ブルを飲んでもう一本のルートへ意識を集中。一登目の失敗で頭が冷えたためか、冷静にルートを観察することができました。そして二登目。一登目と違い、自分の得意とするホールドで、ほぼ予想通りのムーブで登ることができました。足の位置を見直す余裕もあり気持ちが良い登りができました。

結果、準決勝には出場できませんでした。準決勝・決勝を見てきました。技術の差よりも、大会の緊張に慣れている所、つまりメンタルにおいて自分と彼らに大きな壁があると感じました。普段の練習の登りで良い意味での緊張心を持つて次の大会・国体へと準備しようと思えます。結果の順位は良いとはいえませんが、今後のクライミングを考えると、今回の大会は大変有意義なものでした。秋の国体では、今回の結果を笑えるような成績を残せるようがんばっていきましょう。

結果 参加者104人  
岡本昂大(56位)、矢口岳樹(99位)

# 事務局だより

お知らせ

平成27年度 同窓会総会  
6月13日土 開催予定

## 同窓会総会と 長老推戴について

同窓会は、毎年、6月の第二土曜日に同窓会の総会を開いています。27年度は、6月13日の開催を予定しています。

例年、総会に合わせ、卒業五十周年を迎える皆さんを長老として推戴し、記念のバッチを贈呈しています。(写真)

今年度、長老推戴を受けられるのは、高校十八回(昭和四一年)に卒業された皆さんです。同期、同年の皆さんはお誘い合つて大勢ご参加ください。

同窓会の総会に合わせ、同年会・同級会を開催される年代も大勢いらっしゃると思いますが、同期会等を階差する場合には限り、クラス、学年の単位で名簿を提供致しますので、同窓会事務局にご相談ください。

## 会費の納入を

会員各位からお納めいただいております会費は、同窓会報の発行や総会に併せて開く講演会など会の運営はもとより、その多くが、現役の生徒たちのスポーツや学習、教育機会の充実等の支援に使われております。先輩から後輩へと引継がれてきた様々な良き伝統と共に、今の大町高校を支える一つの大きな柱となっております。

会費は1年につき千円、2年ごとに2千円を納入いただく方法や5年、終身といった納入方法も設定し、お願いしております。

これまで未納入であった方も、遡って納入いただく必要はありません。振込み用紙が届きましたらお早めの納入にご協力ください。

- 二年分……………一千元
- 五年分……………四千五百円
- 十年分……………九千円
- 終身会費……………二万円

## 大町新校の設立に向け始動 同窓会統合へ

大町市内での新しい高校の開校により、優秀な多くの卒業生が排出されていくことが望まれておりますが、その卒業生がこの地域で伝統・文化の担い手となり、経済を牽引していくためには、まだまだ長い時間が必要で

また、新しい高校が開校したとしても、現在の大町高・大町北高校を卒業した数万人の同窓生の拠り所は必要です。

そこで、新しい高校の在校生をサポートし、大町高・大町北高両校の卒業生の同年会や同期会の開催など同窓会活動を支援していくため、両校同窓会を統合していく方向が確認されました。

話し合いには、両校の同窓会役員に、学校長にも同席をお願いし、新校をサポートし生徒たちに両校の良き伝統を守ってほしいという願いから、統合の方針を選択したものです。

27年度は、大町岳陽高校同窓会の設立準備会を発足させ、組織体制や事務局、予算財産処分などについて、話し合いを継続してまいります。

## 編集後記

今年の冬は雪の訪れが早く、その後も何回かまとまった雪が降りました。グラウンド一面膝上までの積雪で、大町らしいといえば大町らしい冬だったように思います。

その雪解けとともに、大町岳陽高校開校に向け、旧校舎の解体も進んできています。

新年度の一年間が大町高校としての最後の一年間となります。そこで、今回の会報では大町を離れている同窓生の皆様に現状をお知らせしようと、旧校舎の写真を多く掲載しました。懐かしい青春の日々を思い出しつつ、ご覧いただければ幸いです。(勝野 学)



## 母校にいる同窓職員

母校勤務の同窓生は左記の通りです。

校長	横川 秀明(高26回)
地歴公民科	吉井 邦彦(高27回)
保健体育科	井口 直仁(高23回)
国語科	遠藤 颯(高60回)
英語科	白沢 昌平(高28回)
"	勝野 学(高35回)
養護	都筑さつき(高43回)
事務	山田 真平(高50回)

